

高齢者福祉計画及び介護保険事業計画(第9期)の進捗状況報告

自己評価
◎ 80%以上 達成できた
○ 60～79%、概ね達成できた
△ 30～59% 達成はやや不十分
× 29%以下 全く達成できなかった

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策	担当部署
1	自立支援、介護予防、重度化防止	社会参加・生きがいづくりのため、高齢期の運動・スポーツ活動の啓発	スポーツクラブ21の高齢期会員数	2024 460人 2025 460人 2026 460人	高齢者をはじめ、世代間の相互交流ができ、身近な場所・地域において、健康づくり・生きがいづくりにつながるスポーツクラブ21への参加を促進する。「広報たかさご」等で会員募集を継続して行う。全会員が一堂に会するスポーツクラブ交流会や交流ウォーキングも開催する。スポーツクラブ21交流会(340人/1回)交流ウォーキング(150人/1回)	◎	高齢者をはじめ、世代間の相互交流ができた。引き続き、会員数を増やすとともに、全会員が一堂に会するスポーツクラブ交流会や交流ウォーキングを実施していく。	文化スポーツ課
2	自立支援、介護予防、重度化防止	社会参加・生きがいづくりのため、高齢者大学を通じた社会参加の促進	高齢者大学学生による地域貢献活動回数	2024 30回 2025 35回 2026 40回	高齢者大学では、学習やスポーツ・文化活動を通して仲間とのふれあいを含め、明るく楽しい充実した学園生活をおくることにより、生きがいと健康づくりを図り、その学習成果をもとに、地域での活動に参加できるよう、場の提供などの支援を行っている。 地域貢献活動回数 36回	◎	高齢者大学の学生、OBが学習活動やクラブ活動に取り組んだ。 また、学習成果をもとに、地域でのボランティア活動にも積極的に参加している。 高齢者大学の学生数の減少により、地域貢献活動に参加できる人材の確保が課題であるが、より受講しやすい仕組みを検討していく。	教育センター
3	自立支援、介護予防、重度化防止	社会参加・生きがいづくりのため、老人クラブの活性化に向けた支援	老人クラブ数	2024 56 2025 56 2026 56	高齢者の社会参加の場である老人クラブの活性化を図るため、身近に参加できる老人クラブの存続に向けて、老人クラブ連合会および市内56単位老人クラブへ補助金を交付した。	◎	構成員数が減少しても、補助金交付できるようにしたが、クラブ数が減っている。補助金の交付による活動支援とともに老人クラブ活動の周知を行う。	地域福祉課
4	自立支援	高齢者ボランティアの育成と活動支援	ボランティア活動センター登録団体のうち60歳代以上の者	2024 455人 2025 460人 2026 465人	ボランティアの育成と継続的な活動の支援を目的に、ボランティアの養成・研修事業を実施するとともに、ボランティア活動についての相談及び依頼に対し、助言・コーディネートを行う。また、登録団体に対し、活動助成金の交付や、登録ボランティアの保険料助成を実施。 (408人 89.7%)	◎	ボランティア活動センターでのボランティア入門講座の開催以外にも生活支援体制整備事業や生きがいデイサービス事業の中でも、様々な機会で開催・養成を行い、高齢者の社会貢献活動を支援していく。	社会福祉協議会

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
5	自立支援、介護予防、重度化防止	社会参加・生きがいづくりのため、高齢者の就業支援	シルバー人材センターの登録者数の維持	2024 415人 2025 420人 2026 425人	市シルバー人材センターに対し「高砂市シルバー人材センター運営費補助金」を交付し、事業を支援するとともに、シルバー人材センターのパンフレット・刊行物を商業施設を含む関係機関及び庁内関係部署に配布し、会員加入を周知する。登録者441人。	◎	会員募集PRチラシの配布等の取組を行った結果、会員数は新規入会者数の増加に加え体調不良などによる退会者数が減少し、前年度を上回る会員数となった。今後一般企業の定年延長、再雇用の拡大が進むことが予想されるなか、会員数の維持のため財源の確保、事業内容の見直しが課題である。	産業振興課
6	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための介護予防普及啓発、地域リハビリテーション	広報たかさごやたかさごナビ等への掲載	2024 4回 2025 4回 2026 4回	広報たかさご特集記事、高砂市高齢者くらしの安心ガイド、介護保険利用の手引き、たかさごナビにて、いきいき百歳体操等の通いの場や介護予防についての情報を4回、掲載した。	◎	広報誌やたかさごナビ等のSNSを活用して、継続して介護予防の普及発を実施していく。	地域福祉課
7	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための介護予防普及啓発、地域リハビリテーション	地域リハビリテーション実施回数	2024 12回 2025 12回 2026 12回	いきいき百歳体操グループのうち希望のあった11グループへ、地域リハビリテーションを実施した。	◎	地域リハビリテーションを実施したグループからのアンケートにて、講義や指導への高評価を得ており、事業を実施していく。	地域福祉課
8	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための通いの場、地域介護予防活動の充実	いきいき百歳体操登録者数	2024 1,450人 2025 1,500人 2026 1,550人	いきいき百歳体操の支援訪問のうち、啓発支援11件、立ち上げ支援21件、継続支援163件を実施した。また、登録人数の把握調査及びアンケートを実施した。いきいき百歳体操登録者1,386人。	○	いきいき百歳体操の登録人数が前年度と比較して減少傾向にある。周知・啓発を実施していく。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
9	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための通いの場、地域介護予防活動の充実	生きがい対応型デイサービス延べ利用者人数	2024 7,100人 2025 7,150人 2026 7,200人	生きがい対応型デイサービスにおいて、地域の助け合い・見守り活動の担い手養成を含む介護予防としての位置づけで実施した。市内2カ所で行い、延べ6,837人が利用した。	○	地域の助け合い・見守り活動の担い手養成も行いながら、介護予防が図れるように実施して行く。	地域福祉課
10	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための通いの場、地域介護予防活動の充実	ふれあいいきいきサロン実施部会数	2024 67回 2025 68回 2026 69回	ふれあいいきいきサロン事業を実施した部会数は65部会。ふれあいいきいきサロンを通じて、地域住民の方へ外出機会、通いの場の提供を行えた。	○	新規の参加者が少なく、高砂市高齢者くらしの安心ガイド、社協だより等を活用し、周知を図っていく。	地域福祉課
11	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための総合事業の実施	通所型サービスB延べ利用者数	2024 2,100人 2025 2,200人 2026 2,300人	通所型サービスBについて、延べ2,273人が利用した。通いの場の実施者同士、また関係機関も交えて情報交換会を実施した。	◎	利用者は増えている。通いの場の実施者と関係機関を交えた情報交換会を実施し、スムーズな運営が行えるように支援していく。	地域福祉課
12	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための総合事業の実施	通所型サービスC延べ利用回数	2024 70回 2025 80回 2026 90回	通所型サービスCについて、延べ120回の利用があった。ケアマネジャー連絡会でケアマネジャーへの制度周知を行った。	◎	通所型C型サービスの対象者が制度を利用できるよう、ケアマネジャーに周知をして行く。	地域福祉課
13	自立支援、介護予防、重度化防止	介護予防の推進のための総合事業の実施	訪問型サービスC延べ利用回数	2024 150回 2025 160回 2026 170回	訪問型サービスCについては、延べ115回の利用があった。ケアマネジャー連絡会でケアマネジャーへの制度周知を行った。	○	訪問型C型サービスの対象者が制度を利用できるよう、ケアマネジャーに周知をして行く。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
14	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための地域ケア会議の充実・連携	個別ケア会議の開催件数	2024 40回 2025 40回 2026 40回	個別ケア会議(自立支援型、評価会議含む)28件、個別ケア会議(個別課題型)5件を実施した。	◎	自立支援型ケア会議とその後の評価会議を実施し、それをケアマネジメントや普段の支援につなげていった。会議の充実を図るためにも助言者間の情報交換、相互研修を行いつつ、相互の連携を深め、ネットワーク構築を進めていく。	地域福祉課
15	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための地域包括支援センターの体制強化	3職種チーム数(人員配置)	2024 6 2025 6 2026 6	地域包括支援センター本部、いほ相談室と合わせて3職種チームを6チーム配置した。	◎	3職種チームを6チーム配置し、地域包括支援センターの体制強化を図る。	地域福祉課
16	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための地域包括支援センターの体制強化	いほ相談室の相談体制の整備	2024 実施 2025 実施 2026 実施	4月1日よりいほ相談室を開設。地域包括支援センター(本部)では、土曜日・平日夜間の相談を、29件(電話14件、来所15件)実施した。	◎	地域包括支援センター(本部)では、土曜日・平日夜間の相談を行う。	地域福祉課
17	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための生活支援体制整備事業の推進	第2層協議体整備数(協議体数)	計画期間内の設置	7地区の第2層協議体にて、支え合いづくり協議会を通して、講座・研修会の開催等を行った。未設置地区についても地域行事などに参加し、支え合いづくり活動の必要性の啓発を行った。	◎	各地区における支え合いづくりにへの関心度に差が見られ、住民に向けて支え合いづくり協議会の趣旨および活動内容について、継続して周知を図る必要がある。	地域福祉課
18	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための生活支援体制整備事業の推進	第2層生活支援コーディネーター配置数	2024 4人 2025 4人 2026 4人	第2層生活支援コーディネーターを4人配置し、生活支援体制整備事業の推進を行う。また、介護予防・生活支援体制整備協議会にて課題の協議を行った。	◎	地域での支え合いの活性化や複合的な課題を抱える人に対する支援体制整備の推進を図るため、第2層生活支援コーディネーターを配置する。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
19	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための生活支援体制整備事業の推進	ボランティア体制を整備した第2層協議体数(協議体数)	2024 4 2025 5 2026 5	阿弥陀地区にて3グループ、北浜地区にて1グループ、ボランティアによる支え合いグループが設置された。	◎	住民主体の助け合い活動が軌道に乗るように、生活支援コーディネーターによる支援を継続していく。また、他地区においても助け合い活動の情報提供を行っていく。	地域福祉課
20	自立支援、介護予防、重度化防止	水害時の逃げ遅れを防止するために出前講座等を通じて「マイ避難カード」作成支援を行う。	防災に関する出前講座実施数	2024 40回 2025 40回 2026 40回	出前講座を28回実施し、ハザードマップの説明及び「マイ避難カード」作成支援を行った。	○	目標回数には届いていないが、継続して自主防災組織や自治会などの申し込みに基づいて出前講座を実施する。引き続き、未実施の地域へも出前講座等を通じて作成支援と周知を行っていく。	危機管理室
21	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための避難行動要支援者の個別避難計画作成の推進	避難行動要支援者の個別避難計画新規作成数	2024 10件 2025 15件 2026 20件	個別計画の新規作成者43人。荒井地区において、危機管理室と共に7つの自治会で事業概要及び個別計画作成を行い、1人の避難訓練を実施した。	◎	計画作成優先順位を検討しながら各地区への説明会を順次行い、個別避難計画作成推進を図る。	地域福祉課
22	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための避難行動要支援者の個別避難計画作成の推進	各地区説明会開催数	2024 5回 2025 5回 2026 5回	荒井地区において、危機管理室と共に連合自治会へ1回、各自治会へ7回、事業概要及び個別計画作成についての説明会を開催した。また、荒井地区において、避難訓練を実施した。	◎	計画作成優先順位を検討しながら各地区への説明会を順次行い、個別避難計画作成推進を図る。	地域福祉課
23	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備のための民生委員・児童委員等の活動の支援	民生委員・児童委員研修開催支援回数	2024 2回 2025 2回 2026 2回	民生委員・児童委員協議会研修会及び中堅民生委員・児童委員研修会の開催を支援した。民生委員・児童委員活動を支援するため「高砂市民生委員・児童委員活動の手引き」の配布を行った。	◎	民生委員・児童委員協議会における研修の開催を支援する。また、「高砂市民生委員・児童委員活動の手引き」について適宜内容を見直し、作成及び配布を行う。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
24	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備ための権利擁護事業・成年後見制度利用の推進	高齢者等虐待防止対策ネットワーク代表者会議の実施	2024 1回 2025 1回 2026 1回	8月20日、高齢者虐待等防止対策ネットワーク代表者会議を開催した。	◎	高齢者くらしの安心ガイド等を活用し、高齢者虐待への啓発活動を図っていく。また、高齢者等虐待防止対策ネットワーク代表者会議を開催していく。	地域福祉課
25	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備ための権利擁護事業・成年後見制度利用の推進	成年後見相談会開催数	2024 4回 2025 4回 2026 4回	成年後見相談会を4回(7月5日、9月5日、11月1日、2月7日)開催し、延べ11人の相談があった。	◎	より多くの相談に対応できるよう、令和7年度は相談会を6回開催する予定。	地域福祉課
26	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備ための権利擁護事業・成年後見制度利用の推進	成年後見支援センターへの相談件数	2024 50件 2025 55件 2026 60件	成年後見支援センターを運営し、成年後見制度に関する相談窓口の一本化を図り、延べ113件の相談があった。	◎	スムーズな制度の利用につながるよう、市と成年後見支援センターとの連携を図っていく。	地域福祉課
27	自立支援、介護予防、重度化防止	住み慣れた地域での暮らしやすさを支える体制の整備ための移動支援施策の実施	福祉タクシー利用券の利用枚数	2024 10,000枚 2025 12,500枚 2026 15,000枚	福祉タクシー利用券の利用枚数は14,381枚。一乗車につき3枚使用できるようになり、利用枚数が増えた。	◎	利用枚数が増え、高齢者の移動支援に大いに寄与した。申請の利便性を図るため、LoGoフォームによる電子申請の実施を検討していく。	地域福祉課
28	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進のための在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療・介護連携支援センターへの相談件数	2024 100件 2025 100件 2026 100件	在宅医療・介護連携支援センターへ299件の相談があった。	◎	在宅医療・介護連携推進のため、在宅医療・介護連携支援センターで相談支援を行う。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標 等)	実施内容	自己 評価	課題と対応策	担当部署
29	在宅医療・介護連 携の推進	在宅医療・介護連携の推 進のための地域住民への 普及啓発	高砂市在宅医療推進 フォーラム開催数	2024 1回 2025 1回 2026 1回	在宅医療・介護への理解を深めるため、 市民を対象とした「在宅医療推進フォー ム」を10月5日に開催した。	◎	市民を対象とした「在宅医療推進フォー ム」を開催し、在宅医療・介護の理解浸透 に向けて取り組む。	地域福祉課
30	在宅医療・介護連 携の推進	在宅医療・介護連携の推 進のための医療・介護関 係者の情報共有の支援	関係機関リストの更 新回数	2024 5回 2025 5回 2026 5回	関係機関リストの更新を6回実施する。多 職種が連携を図る上で必要な地域の医 療・介護の連携ツールである「たかさご在 宅医療・介護関係機関リスト」を更新し、 医療・介護関係者の情報共有の支援を 行った。	◎	「たかさご在宅医療・介護関係機関リスト」 を最新情報に更新し、地域の医療・介護 関係者間の連携等に活用する。	地域福祉課
31	在宅医療・介護連 携の推進	在宅医療・介護連携の推 進のための医療・介護関 係者の研修	医療と介護の連携研 修会の開催数	2024 2回 2025 2回 2026 2回	在宅医療・介護の関係者の連携につなが る多職種での研修会を3回開催した。	◎	在宅医療・介護連携支援センターを中心 に関係機関との連携強化を図るため、研 修を継続して実施する。	地域福祉課
32	認知症施策の推進	共生社会の実現を進める ため、認知症の人に関す る理解の増進等	認知症サポーター養 成講座受講者数	2024 700人 2025 750人 2026 800人	認知症サポーター養成講座について 1,969人が受講。数認知症についての正し い知識を持ち、誰もが暮らしやすい地域 づくりを担う認知症サポーターを養成に寄 与できた。	◎	一般市民、児童、学生、企業他と幅広い 対象者に対し、継続して実施していく。	地域福祉課
33	認知症施策の推進	共生社会の実現を進める ため、認知症の相談窓口 の周知及び相談支援の充 実	認知症の相談窓口の 認知度(%)	2026 30%	アルツハイマー月間にあわせて、9月の広 報たかさごに認知症についての記事を掲 載した。また、令和7年3月に認知症あんし んBOOKの改訂を行った。	○	アルツハイマー月間にあわせて認知症相 談センターの普及啓発活動を行うととも に、社協だよりや認知症あんしんBOOKに 認知症相談センターについて掲載するな ど、相談窓口の周知を図る。	地域福祉課
34	認知症施策の推進	共生社会の実現を進める ため、認知症の相談窓口 の周知及び相談支援の充 実	認知症相談センター への相談件数	2024 500件 2025 550件 2026 600件	認知症相談センターへ507件の相談が あった。高齢者くらしの安心ガイド、認知 症あんしんBOOK社協だより、SNS等を通じ て相談窓口の周知を図った。	◎	認知症相談センターの相談窓口の周知を 図っていく。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策	担当部署
35	認知症施策の推進	共生社会の実現を進めるため、認知症の早期発見・早期対応等のための体制の充実	初期集中支援チームの対応件数	2024 100件 2025 100件 2026 100件	対象者への早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に、認知症初期集中支援チーム員会議を月1回開催し、延べ93人の検討を行った。	○	対象者への早期診断・早期対応に向けた検討を行うため、認知症初期集中支援チーム員会議を開催していく。	地域福祉課
36	認知症施策の推進	共生社会の実現を進めるため、認知症の人に対する地域連携の推進	見守りSOSネットワーク協力者数	2024 450人 2025 455人 2026 460人	見守りSOSネットワーク協力者として448人が登録。認知症による行方不明高齢者等を早期に発見するため、高齢者等見守り・SOSネットワークの事前登録を進め、事前登録者へは「みまもりカード」を配布した。	◎	事前登録者に「みまもりカード」を配布し、さらに周知を図ることができた。9月のアルツハイマー月間にて、広報誌や高砂ナビ等を通じて事業の周知を図る。	地域福祉課
37	認知症施策の推進	共生社会の実現を進めるため、認知症の人に対する地域連携の推進	認知症高齢者等個人賠償責任保険加入者	2024 100人 2025 110人 2026 120人	認知症の人及びその家族等が地域で安心して生活できるように、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の加入を進め、77人が加入。	○	個人賠償責任保険加入者数は、目標には及ばなかった。9月のアルツハイマー月間に広報や高砂ナビ等で周知を図る。	地域福祉課
38	認知症施策の推進	共生社会の実現を進めるため、認知症の人に対する地域連携の推進	たかさごチームオレンジ登録数	2024 4件 2025 5件 2026 6件	今年度、「つたの会」「たすけっと」「なかよしサークル」の3グループが新たにチームオレンジとして立上がり、市内で計6グループが登録された。	◎	地域で暮らす認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと認知症サポーターを結びつけるための「たかさごチームオレンジ」の登録を進める。	地域福祉課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策	担当部署
39	認知症施策の推進	共生社会の実現を進めるため、認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護	成年後見相談会開催数	2024 4回 2025 4回 2026 4回	・成年後見相談会を4回(7月5日、9月5日、11月1日、2月7日)に開催し、延べ11人の相談があった。	◎	より多くの相談に対応できるよう、令和7年度は相談会を6回開催する予定。	地域福祉課
40	介護サービスの充実	介護サービスの充実と質の向上のため、サービス事業所の充実	小規模多機能型居宅事業所又は看護小規模多機能型居宅介護事業所の新たな設置	期間内の整備を目指す	看護小規模多機能型居宅介護事業所の公募について、第9期計画期間内に整備できるよう事業所の意向を聴取した。	△	小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護事業所は採算が取りづらく、公募しても応募がない状況が続いている。公募の時期、周知方法等を検討していく。	介護保険課
41	介護サービスの充実	介護サービスの充実と質の向上のため、介護サービス事業所への指導・監督	市指定事業所の運営指導	2024 6件 2025 6件 2026 6件	市指定事業所7事業所及び県と合同による県指定事業所7事業所の実地指導を行った。	◎	年度当初に計画した事業所の指導が概ね達成できており、県と合同の指導については連携を取りながら指導を毎年取り組んでいる。今後も目標の件数の実地指導を進めていく。	介護保険課
42	介護サービスの充実	介護サービスの充実と質の向上のため、市窓口における相談支援の充実	専門的研修の受講	2024 2件 2025 2件 2026 2件	介護や福祉に関する専門的な研修に参加し、窓口での相談支援に関する知識の醸成に努めた。 受講件数:2件	◎	引き続き、専門的研修に参加し、職員の知識の醸成に努める。	介護保険課

第9期介護保険事業計画に記載の内容					R6年度(年度末実績)			
番号	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策	担当部署
43	介護サービスの充実	介護人材確保のため、研修の受講費用の一部助成	研修の受講費用の一部助成	期間内の整備を目指す	令和7年度より開始できるよう制度設計、予算要求を行った。	◎	受講費用助成制度について他市町の事例や国・県補助金等の活用をを調査研究し、制度の充実を検討していく。	介護保険課
44	介護給付等費用の適正化	介護給付適正化に向けた取組として適切なケアプランの推進	ケアプランの点検	2024 60件 2025 60件 2026 60件	計6事業所に対し、計60件のケアプラン点検を実施した。 書面での添削形式に加えて、面談形式でのケアプラン点検を行い、自立支援に資するケアプラン作成についてケアマネジャーに指導を実施した。 また、高砂市内に所在する居宅介護支援事業所等のケアマネジャーを対象にオンラインによる研修会を実施した。	◎	職員も研修会などに積極的に参加し、レベルアップを図るとともに事業所への適切な指導に努める。	介護保険課
45	介護給付等費用の適正化	介護給付適正化に向けた取組として適切なケアプランの推進	住宅改修の工事の場所の確認	建築職の職員と事前の工事場所確認を行う	建築職及びリハビリの専門職者とともに住宅改修工事内容の点検事業を実施し、介護給付適正化に努められた。	◎	今後も引き続き建築職及びリハビリの専門職者と同行による現地確認を行うなど、介護給付適正化事業を実施していく。	介護保険課